

日本スエーヂ工業株式会社

ワイヤロープ加工品や 端末処理品を提供

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



ワイヤロープ端末各種の一例

主な事業内容	主な取引先(納入先)	主な製品
ワイヤロープ加工品、端末処理品、樹脂被覆加工品などの提供	照明器具、建築金物、エレベーター、シャッター、電線の各メーカーなど	照明器具関連の落下防止ワイヤ、各種樹脂押出被覆ワイヤロープなど

業務内容 「安心・安全・信頼」を重視

「日本スエーヂ工業」は工業部品や産業資材として広く使われるワイヤロープを加工し、その加工品や端末処理品などを提供する。メーカーから購入したワイヤロープを社名のスエーヂの意味通り「絞る、かしめる」ことに特化した「端末加工屋」として本間七夫社長は表現する。同社製品は、シャッター類やエレベーターに使用されるほか、照明器具などの落下防止や、学校プールのコースの区分け、美術館の絵画を吊す目的など使用用途は多岐にわたる。いずれも「安心・安全・信頼」が求められ、これらを保証できる品質を保つのはもちろん、用途に合った提案と少量、短納期にも対応できる体制を整えている。

強み 幅広い業種に対応

約50年前に創業した同社は米国の軍用規格(MIL規格)の加工も手がけるなど独自の端末加工技術やプラスチックコーティング技術を持つ。蓄積された技術と経験で幅広い業種に対応できるのが強みだ。品質管理も厳格で、引張試験や耐久試験、拡大鏡での破断面の検証などを

社内ですべて実施している。

社内にはねじを盛り上げる転造機もあり、これを生かし、ワイヤロープと金属を一体化した「ワイヤ&ボルト」シリーズを展開。通常の電線以上の強度を確保でき耐食性にも優れていることから、同シリーズの75%はメーカーと直に取引。「ニーズを拾うためにはいい加減にやらないこと。徹底的にやるうちにできる範囲が広がっていった」と本間社長は実感を込める。

人材育成 「マルチ人間」を育てる

同社では多能工を推し進め「マルチ人間」を育てるという明確な指針がある。社内には自分のアイデアを試作して形にできるよう旋盤、溶接、研磨などさまざまな機械がある。自ら検証したうえで、アイデアがよければ改良を重ねる。そういう試行錯誤を自由にできる環境を提供している。

同社は基本的に受注生産ばかりで、見込み生産はほとんどない。「やったことがないから知らない」では許されない。マルチに活躍できる人材を育てることで効率的な生産体制を築いていく。本間社長は「朝礼では『プロ意識を持つ』と探っている。そういう意識を持つことで探究心がわく」と叱咤激励する。

社長あいさつ



代表取締役社長
本間 七夫さん

人の縁を大切にしてきました。今でも創業当時の会社とお付き合いがあります。仕事は「誠意誠意やる」を基本にしています。お客様の要望に提案で返したりするうちに、良い人たちとの出会いがあり、今日があります。今後も「企業は人なり」を忘れずに仕事に励みたいと思います。

主な保有設備

- 押出成形機 40mm—75mm 4台
- 油圧プレス 3t—250t 20台
- スウェージングマシン φ1.0—φ40 7台
- ねじ転造盤 10t 1台
- 精密万能試験機 オートグラフ 100kN 1台

ISO 9001

住所 〒585-0044
南河内郡千早赤阪村
森屋25-1

TEL / 0721-72-1621
FAX / 0721-72-1224
創業 / 昭和43年7月
設立 / 昭和43年7月
資本金 / 4,000万円
従業員 / 38名



本社工場の外観



押出コーティング機械



<http://swage.co.jp/>